

有形文化財(考古資料)

からくさもんすかしぼりかがみいた

唐草文透彫鏡板

別府市

県指定有形文化財（考古資料）

昭和 34 年 3 月 20 日指定

太郎塚古墳で発見されたと伝えられるこの鏡板（馬具の轡くつわを構成する部品で、銜はみと面繫おもがひをつなぐもの）は、銅地板に唐草文様の透彫をあて、外縁心臓形をした金具で鋳留したもので、縦 6 cm、幅 10cm の楕

円形を呈し、主文様は四区に分かれて唐草が配置されている。中央には楕円形の穴があり、銜先と引手の結節がおこなわれたとみられ、銅地に鍍金を施すなど壮麗な仕上りを見せている。

（事務局）

